

## 肺癌細胞診の診断判定基準の見直しワーキンググループ活動報告

委員長 佐藤之俊

本ワーキンググループは日本肺癌学会と協力して、呼吸器細胞診における新たな4段階の判定基準を提案し、それに基づく診断の検討を他施設の標本を用いて行いました。これらの結果を原著論文として *Acta Cytologica* に投稿し、この度 **accept** されました。論文のタイトルは「Cytology reporting system for lung cancer from Japan Lung Cancer Society and Japanese Society of Clinical Cytology: An interobserver reproducibility study and risk of malignancy evaluation on cytology specimens」です。

そして現在は、IAC（国際細胞学会）、ECC（欧州細胞学会）、JSCC（日本臨床細胞学会）、PSC（パパニコロウ協会）、IASLC（世界肺癌学会）のメンバーが中心となって、国際的な **Steering Committee** を組織し、呼吸器細胞診の国際基準作成作業を進めています。